

インフルエンザワクチン受付再開について

予約専用サイト



インフルエンザワクチンの予約受付は一旦終了しておりましたが、追加の入荷が決まり、受付再開を準備中です。なお、ワクチン接種の際、20歳未満の方は母子手帳をご持参ください。

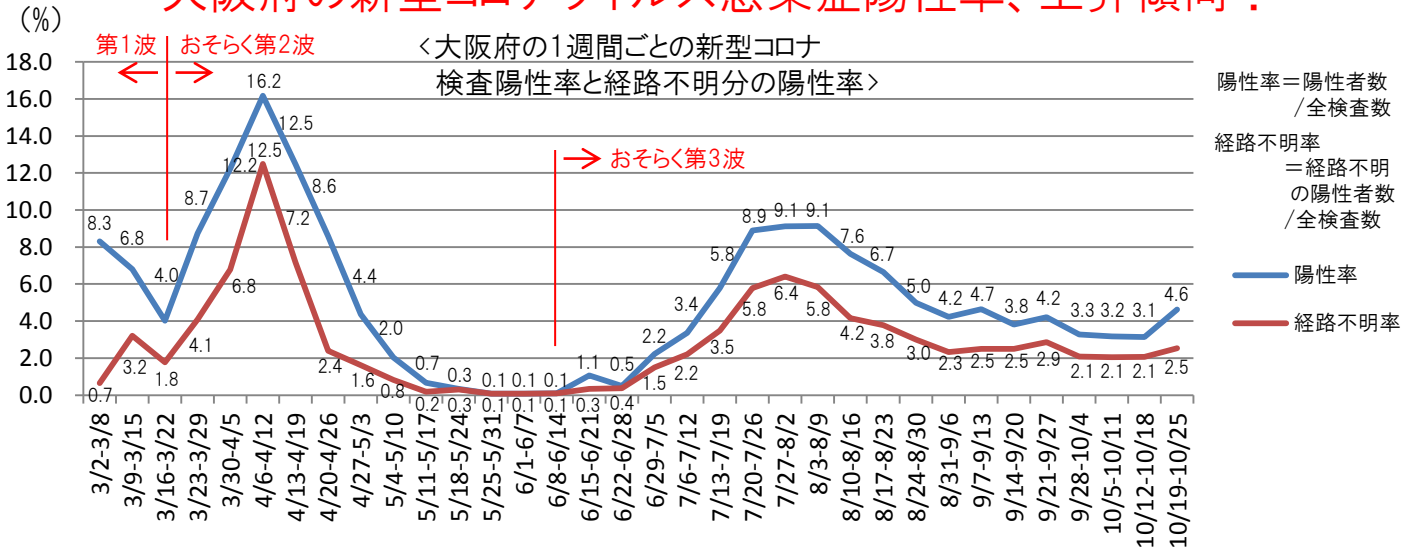
予約専用サイト: <http://2977771.com/i/>

予診票サイト: <http://www.yoshinhyo.com/download/aka7771>

予診票サイト



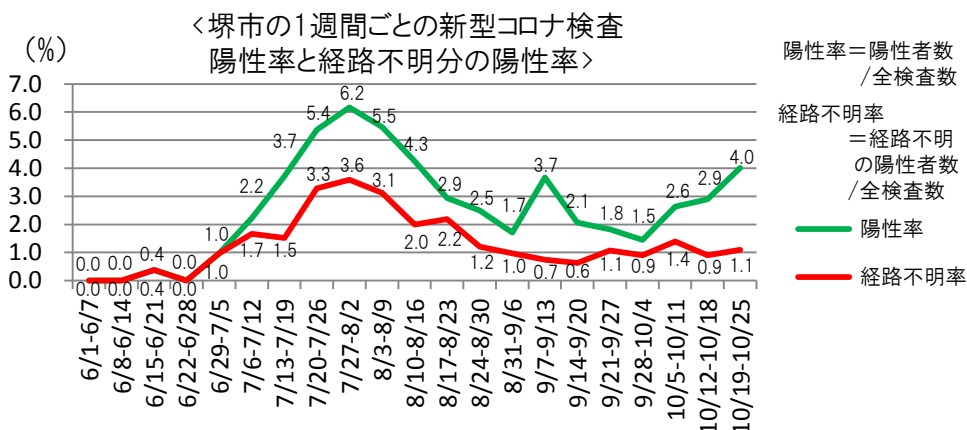
大阪府の新型コロナウイルス感染症陽性率、上昇傾向？



大阪府の非常事態宣言解除後の新型コロナ検査陽性率は下げ止まりになり、陽性率・経路不明率とも上昇傾向にありそうです。  
出典: 大阪府HP『大阪府の最新感染動向 最終更新 2020/10/31』

堺市の新型コロナウイルス感染症陽性率が悪化

堺市の6月1日以降の週ごとの新型コロナ検査陽性率です。7月27日からの週が最高で、8月31日からの週が1.7%まで下がり、その後2か所の幼稚園や泉北陣内病院でのクラスターなどで陽性率が上がっています。経路不明陽性率が上昇していないのが救いです。  
出典: 堺市危機管理室 Twitter



厚生労働省の新型コロナの“いま”についての10の知識、長崎大小児科学・森内教授の講演から

感染リスクが高まる「5つの場面」

- 場面① 飲酒を伴う懇親会等
- 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食
- 場面③ マスクなしでの会話
- 場面④ 狭い空間での共同生活
- 場面⑤ 居場所の切り替わり  
休憩室、喫煙所、更衣室で感染の疑われる事例が報告されています。

厚生労働省がこの10月にまとめた10の知識で、感染リスクが高まる場面が左にあります。次ページに診断された人のうち、1~4月と、6~8月で重症化する割合が大幅に改善している表と、30代の重症化率を1とした場合の各年代の同率の表を挙げています。小児はあまり重症化しないというのが、裏付けられています。6月5日以前と以降の治療を比較して、以降に

### 期間別の診断された人のうち、重症化する割合(%)

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	計
1-4月	0.69	0.90	0.80	1.52	3.43	6.40	15.25	26.20	34.72	36.24	9.80
6-8月	0.09	0.00	0.03	0.09	0.54	1.47	3.85	8.40	14.50	16.64	1.62

### 30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例(無症状を含む)のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。

重症化のリスクとなる基礎疾患:慢性腎臓病、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満(BMI 30以上)

妊婦、喫煙歴なども重症化しやすいかは明らかでないが注意が必要とされています。

レムデシビルとステロイド薬の投与割合が増加していました。

長崎大学・小児科の森内教授は第61回臨床ウイルス学会学術集会(10月2~31日、Web配信)の講演で、小児における感染経路について、「学校内での感染は小学校で2%、中学校で7%ある一方、家庭内での感染の方がずっと多く小学生では75%、中学生では68%」

という文部科学省のデータを示した上で、「インフルエンザウイルスは子どもの流行が中心であり、学校での流行から家庭、社会に広がっていくのに対して、SARS-CoV-2では社会の中の流行から家庭内に持ち込まれ、子どもが感染するという逆の構図である」と考察されました。子どもにとってのSARS-CoV-2の危険性について、「15歳未満ではCOVID-19よりもインフルエンザ・肺炎の方が遥かにインパクトが大きく、さらにインパクトが大きいのがRSウイルスである」と述べました。

出典:厚生労働省HP『(2020年10月時点)新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識』、東京新聞Web『70代のコロナ重症化率は30代の47倍 厚労省まとめ』、m3.com HP『長崎大・森内氏「子どもにとってのCOVID-19」【第61回臨床ウイルス学会】』

## 体調が悪い場合について

堺市HPによると、先月号でお伝えした方向に進んでいます。堺市では10月21日時点で発熱外来を56か所に、PCR検査等を実施する地域外来・検査センターを5か所に設置したとあります。特に大人で発熱や風邪症状がある場合は、『(1)かかりつけ医または、お近くの医療機関に電話等でご相談ください。(2)相談・受診する医療機関が見つからない場合は、新型コロナ受診相談センターにご相談ください。』となりました。相談センターはこれまで通り、TEL [072-228-0239](tel:072-228-0239)(月~金の9~20時。土・日・祝の9~17時半。この時間以外では緊急のご相談のみ)又はFAX 072-222-9876です。当科では、明らかに濃厚接触の小児の患者様でなければ、普通に受診いただく方針です。

出典:堺市HP『新型コロナウイルス感染症について、最終更新日:2020年11月1日』、広報さかい令和2年11月号

## 厚生労働省が子宮頸がんワクチンのリーフレットを改訂し、対象者にワクチンの目的などの情報の周知までは行う方針に転換



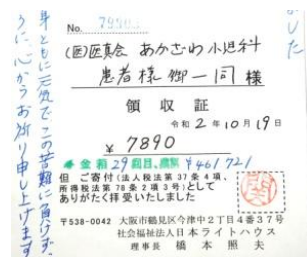
①概要版 ②詳細版 ③HPVワクチンを受けたお子様と保護者の方へ

厚生労働省は10月9日に子宮頸がんワクチンに関するリーフレットを改訂し、HPIに掲載しました。ワクチンの対象者や目的を改めて整理し、読みやすさ・分かりやすさが重視され「①概要版」、「②詳細版」、「③HPVワクチンを受けたお子様と保護者の方へ」が公開されました。2013年6月から積極的勧奨が一時差し控えられ、標準的な接種期間の前に接種を促すハガキ等を各家庭に送るなど、積極的に接種を呼びかける取り組みが止まっていた。今回市町村長に関連通知も発出され、積極的な勧奨はしないものの、対象者らが情報に接する機会を確保し、接種するかどうか検討・判断できるよう、対象者に周知するよう求められました。

出典:厚生労働省 HP『HPVワクチンに関する通知・事務連絡 2020年10月9日』、大阪府医ニュース 2020年10月21日号

## 当院設置の募金箱集計の御報告

当院には社会福祉法人 日本ライトハウスの募金箱が設置してあります。同社は眼の不自由な方々に対する福祉活動として、視覚障害リハビリテーションや盲導犬育成事業などをされています。年1回の集計で今回29回目7,890円を寄付させていただきました。通算461,721円となりましたので、ご報告致します。



## 車待機方式を継続中

## 風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種 受付中

11月・担当医の変更

14日(土) 片桐→赤澤  
17日(火) 赤澤→片桐